

暖 暖 松 山

だんだんまつやま

vol. 4

Take Free

「ことば」がまちを
かけめぐる
愛媛松山へ

道後 県庁
Dogo PREF. OFFICE
11

6 道後温泉
Dogo-Spa
2108
2108
うちら電源切れても 繋がるとるよ。





道後温泉本館・神の湯男子東浴室。湯釜には大国主命が少彦名命を手のひらにのせている姿が浮き彫りされ、山部赤人の長歌などが刻まれている

ぬくもりが
こんこんと。
お湯とことばが
湧いています。

「ことば文化」のDNA

うふふ、と感じてみてください

どの季節も明るい松山ですが、秋はひとときわ清明で澄んでいる気がいたします。さてこのほど、松山の魅力をお届けする「暖暖松山」4号が出来上がりました。今回は、俳句の伝統を土壌として、街のここかしこで花ひらく「ことば文化」をご紹介します。俳句はユーモアを湛えた文学ともいわれますが、ことばを楽しむゆとりとセンスは、日本最古の歴史を持つ道後温泉が培ったのかもしれない。脈々と受け継がれる松山のDNAを、うふふ、と感じていただければ幸いです。

「暖暖松山」4号

目次

2 五・七・五は愉快です！道後温泉を愛した俳人たち

かたっぱしから何でも詠んだ子規
俳句熱中時代を過ごした漱石
温泉大好き人間だった山頭火
俳人・神野紗希さんおすすめの数々道後吟行案内

6 街にあふれる「ことばのちから」

街はことばのミュージアム
みずみずしい感性と青春の輝きがまぶしい「俳句甲子園」
共感の翼で全国に広がる松山発祥の歌「この街で」

10 あこがれの宿・味・土産 ことばが光るおもてなし

歴史と文化の薫る宿
うまいもん&すぐれもん

14 会いたい松山 今行く松山

食材自慢 松山産ライム

17 松山市街地エリアMAP アクセス

表紙写真：ことばが書かれた路面電車と坊っちゃん列車（松山市役所前）
©本誌に掲載されている情報は、「暖暖松山」編集部が独自に選定しています。

道後温泉を愛した俳人たち

俳句の聖地といわれる松山。松山ゆかりの俳人たちもまた、歴史情緒あふれる道後の湯と温かい人情を愛し、湯の町ならではの名句やユーモアのある句を残した。彼らの俳句を味わいながら、道後温泉との関わりを紹介しよう。



正岡子規
慶応3年～明治35年
松山生まれ。本名は常規。若い頃はベースボールに熱中、松山に野球を伝えたといわれる。病床にありながらも故郷をしのび「足なへの病いゆてふ伊達の湯に飛びても行かな驚にあらませば」(「竹乃里歌」)という短歌も残している

写真提供/松山市立子規記念博物館

かたっぱしから何でも詠んだ子規

「色里や十歩はなれて秋の風」

子規といえば、病氣と闘いながら俳句の革新運動を起した堅苦しい偉人だと思われているが、本当はとてもチャーミングな人だった。あだ名をつける名人で、高浜虚子を「さつまいも」にたとえ「甘み十分なり。屁をつつしむべし」と添える。なんとも的確でユーモラスだ。子規の書く文章や俳句はこのようなユーモアにあふれている。子規は書くことが大好きだった。書き魔ぶりは松山帰省中にも発揮される。明治28年、病氣静養のため松山に帰った子規は、漱石の下宿・

俳句熱中時代を過ごした漱石



夏目漱石
慶応3年～大正5年
東京生まれ。本名は金之助。子規がつけたあだ名は「柿」。「うまみ沢山。まだ浪の抜けないのも混じっている」との評。松山にはわずか1年のみの赴任だったが、その影響力は大きい

写真提供/松山市立子規記念博物館

「永き日やあくびうつして分れ行く」

漱石が松山中学校に赴任してきたのは、明治28年。月給は校長の60円を上回る80円。漱石は、道後温泉がよほど気に入ったとみえて手拭いを下げて毎日のように通った。それもそのはず、質の良い湯に加えて、木の香もゆかしい三層楼の建物は前年に完成したばかりの立派なものだった。高浜虚子は著書「いよのゆ」の中で、若い日に漱石と道後温泉に通った思い

出を次のように描いている。「漱石は」石鹸を塗り立てたり、手拭でこし〜と洗ったりするでも無く、唯心の赴くままに湯の中に浸つたり又出たりしてぼんやりと時間を過ごした。：此温泉に浸る時の心持は極めて純な清い静かなものであつた」。小説「坊っちゃん」の主人公は湯の中を泳ぎ回って喜んでいて、身も心も解きほぐしてゆったり入浴した本人とのギャップが興味深い。

漱石は子規の影響で俳句を詠むようになった。掲出句や「叩かれて昼の蚊を吐く木魚かな」のようにとてもユーモラスな句を詠んだ。漱石の俳句は、斬新で奇想天外、滑稽味があると子規も高く評価した。松山、熊本時代には、東京の子規宛てにたくさん俳句を作って批評を求めている。漱石の俳句熱中時代は松山から始まった。

松山には句碑と俳句ポストがあちこちにある！



石を投げれば句碑にあたるといわれるほど松山には句碑が多い。また、観光地、路面電車の中、旅館ホテルなどには「観光俳句ポスト」が設置してあり、備え付け用紙で、常時、投句を受け付けている。年間約1万句の投句がある

松山市立子規記念博物館には愚陀佛庵の1階が復元されており、堂部分に入ることができる。
④ 松山市道後公園1-30
☎089-931-5566
⑤ 9時～18時(入館は17時30分まで) ※11月1日～4月30日は9時～17時、入館は16時30分まで
⑥ 月曜(祝日の場合は閉館、翌日休館)
詳細はホームページを参照ください
⑦ 400円(高校生以下は無料)。特別展観覧料は別途

「ずんぶり温泉のなかの顔と顔笑ふ」

自由律の俳人、種田山頭火は、酒と俳句を愛したが、温泉もまたこよなく愛した。全国を遍歴しながら句作を続けた山頭火は、昭和14年、松山の一草庵に落ち着く。御幸寺境内にあるこの庵は、道後温泉からも近い。温泉好きの山頭火のために松山の句友たちが世話してくれたのである。山頭火が通ったのは、道後温泉の中でも3銭で入れる大衆向けの驚きの湯。風呂帰りには付近を散策し、ごろりと昼寝をむさぼったことも。掲出句や「朝湯こんこんあふるるまんなかのわたくし」などは、なんとこのびやかで楽しいことか。山頭火のうれしさ

が句からあふれ出て、読者もまた笑みがこぼれてくる。山頭火は、裕福な家に生まれたが、不幸が相次ぎ、やがて行乞の人生を歩むことになる。山頭火は歩くということに生きようとした。歩くことは生きること。俳句を詠むことも生きること。歩く山頭火の俳句はリズムがよくいきいきとした躍動感を備えている。山頭火俳句が今も愛され続けるゆえんであろう。一草庵では、地元の俳人たちの句会もしばしば行われた。昭和15年、風土が美しく人情の温かな松山の地で「ころり往生」を遂げた。享年59歳。



写真提供/松山市立子規記念博物館

種田山頭火
明治15年～昭和15年
山口生まれ。本名は正一。天折(ようせつ)の俳人・野村朱鳩洞(のむら しゅうりんとう)の墓参りをしようと、ひょいと四国松山へやってきた。その1年足らず後に没する。亡くなる1か月前に詠んだ句は、「濡れる水の流れつつ澄む」

温泉大好き人間だった山頭火

一草庵の庭には山頭火の句にちなんだ樹木が植えられており、句碑4基もある。写真の句碑は「濡れる水の流れつつ澄む」。庵の外観は見学自由。「一草庵」の副題は萩原井泉水(おぎわら せいせんすい)の筆による。隣接する休憩所には山頭火に関する資料を展示
④松山市御幸1-435-1 ☎089-948-6891 (松山市教育委員会文化財課) ※年末年始を除く土曜・日曜、祝日の9時～17時のみ(11～1月は16時30分まで、7・8月は17時30分まで)庵内部の見学ができる



俳人・神野紗希さん おすすめの道後吟行案内

最初に訪れたのは、大イチョウが迎えてくれる宝蔵寺。「繁華街の近くにありながら静寂の漂うスポット。子規が「色里や十歩はなれて秋の風」と詠んだまさにその場所、かつては聖と俗が隣り合っていました。これを知ったあとで上人坂を下ると違う風情が感じられますよ」と神野さん。

「巨大な「湯の大地蔵尊」のある円満寺は、いま恋愛成就・夫婦円満のスポットとして注目株だ。「湯玉をイメージした願掛けのお結び玉や俳句絵馬、俳句恋みくじを試してみよう」俳句好きにとって王道の松山市立子規記念博物館だが、館内で神野さんが足を止めたのは、子規のペンネームのパネル前だった。「自分を茶化

すのは俳人の特徴ですが、ペンネームにも子規の面白がる人柄が出ていますね。2階のコーヒーショップでは飾り格子をそばで見られます」

最後に神野さんが足を運んだのは瓶泥舎びいどろ・ぎやまん・ガラス美術館。光と影の織りなす幻想的な世界が広がる。「作品の素晴らしさに加え、クラシックな建物や庭が作りあげている上質な空間が素敵。『本物』という言葉が自然に出てきます」道後温泉本館にも使われているギヤマン、道後は和ガラスのよく似合う町である。最後に一句詠んでもらった。

大正の桃色硝子夜の秋
紗希

道後は歴史と文化と自然が交錯する吟行の地 俳人・神野紗希さんに案内してもらった

瓶泥舎びいどろ・ぎやまん・ガラス美術館



上/道後の閑静な住宅街にたたずむ洋館。平成23年にオープンした日本有数の和ガラス美術館で、国内屈指のコレクションを誇る。年に2回企画展を開催。右/青色被(あおいろさせ)ガラス台付鉢(明治～大正時代)青とピンクの配色が大胆で美しい



- DATA
- 宝蔵寺 ④松山市道後湯月町5-4 ☎089-946-2418 ⑤道後温泉駅から徒歩8分
- 円満寺 ④松山市道後湯月町4-49 ☎089-946-1774 ⑤道後温泉駅から徒歩5分
- 瓶泥舎びいどろ・ぎやまん・ガラス美術館 ④松山市道後線7-21 ☎089-922-3771 ⑤10時～17時(見学は事前予約のこと) ⑥火・水曜(祝日の場合は開館、翌営業日休館) ⑦一般1000円、中高生800円、小学生以下無料 ⑧道後温泉駅から徒歩8分
- 松山市立子規記念博物館 P3参照 ⑨道後温泉駅から徒歩3分

神野紗希(こうのさき) PROFILE 松山出身、東京在住。俳句ウェブマガジン「spica」発行人。現在、NHK-Eテレ「俳句さく咲く!」に出演中。句集に『光まみれの蜂』(角川書店)などがある。

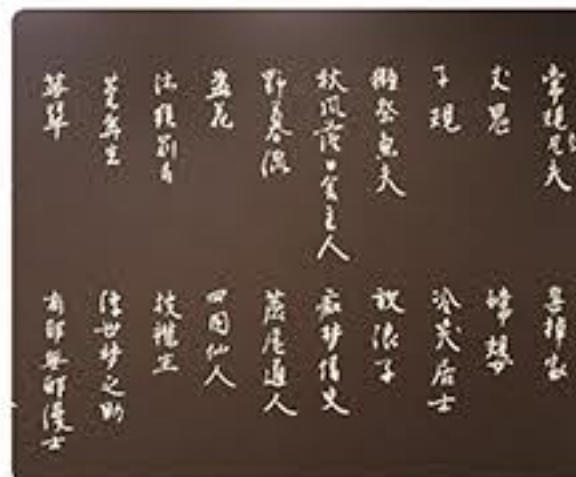
宝蔵寺



時宗の開祖・一遍上人の生誕の地。上人坂を上りきった所にある。右は子規の句碑と斎藤茂吉の歌碑



松山市立子規記念博物館



左/ペンネームパネル(写真は一部)には幼名「升(のぼる)」から付けた「野球(のぼー)」「野暮流(のぼる)」や、蒸気ポンプから思いついた「常規凡夫(じょうきばんぶ)」、『浮世夢之助(うきよゆめのすけ)』などユニークなのがざらり。子規のユーモアの精神と言葉のセンスが光る。右/コーヒーショップからは俳話「ホトギス」の表紙デザインを模した飾り格子を内側から見る事ができる。デザインは浅井忠、中村不折ら



円満寺の俳句絵馬(1つ500円)は、相手の名前と自分の名前を書き込むと俳句が成立する。松山市の市花「梅」が季語

街はことばのミュージアム

多くの文化人を生み、小説「坊っちゃん」や「坂の上の雲」などの舞台にもなった松山は、古くから文学的土壌があった。そんな風土を持つこの街で、松山市全体で取り組んでいるのが「ことばのちから事業」。えっ、こんなところに「ことば」が…。

みんなの願いをぎゅっと握って生まれてきたんだね



空港リムジンバス



松山空港ロビー階段



ピアノ講師 高市貴美子さん

退職し 帰りました松山に 還暦過ぎてマドンナと

このことばは、好きな街で好きな人と生きていく幸せを感じるので、大好きです。私自身も、大学進学のために松山に来てここで結婚、これからもずっと松山で暮らしていくつもりです。

松山市が新しい文化の風を興したいと、「ことばのちから事業」をスタートさせたのは、平成12年のこと。21世紀に残したいことばをテーマに「だから、ことば大募集!」を実施し、その結果、日本国内にとどまらず海外からも1万2001点の作品が集まった。

選ばれた「ことば」は、路面電車などに掲示され、街中のあちこちで表情のある文字が目飛び込むようになった。「ことばのちから」が「コンクール」をはじめとする数々のイベントも催されている。

平成22年には「絆」をテーマにして2回目の募集を行い、1万2200点もの作品が寄せられた。「ことば」は空港リムジンバスやロープウェイ街、百貨店の懸垂幕などにも広がり、市民にとって親しみのある光景に定着した。パワーをもらったり、くすっとさせられたり、街中に散らばる「ことば」は、心に響くフレーズばかり。さて、あなたはどの「ことば」に出会えるだろう。

もう少し、一緒に歩いていいですか。



千舟町通り大街道交番前交差点

松山に来た当時、夫婦で俳句にはまって、毎日の会話が俳句調になったことがありました。このことば、素敵でしょう。

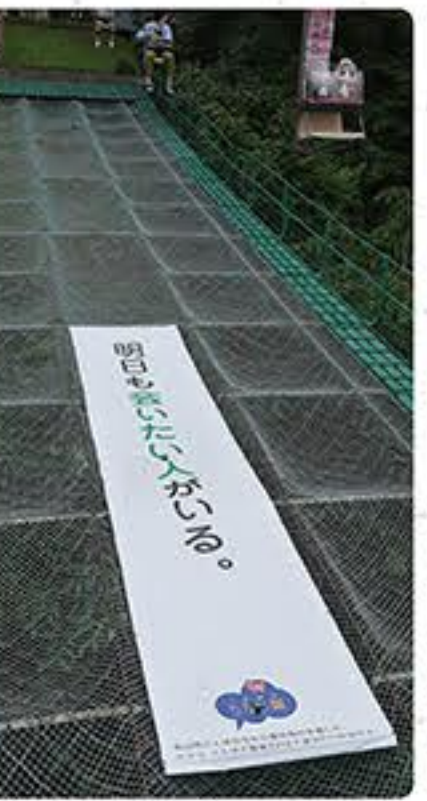
会社員 青砥穂高さん・奈智さんご夫妻



大学教員 成瀬一明さん

街中で見かけたとき、生まれたばかりのわが子が小さな手を精一杯握りしめていた、昔の感動がよみがえってきました。ことばと思いを共有する人々が暮らすこの街をますます親しみ深く感じます。

明日も 会いたい人がいる。



松山城リフト下ネット



松山観光ボランティアガイド 大西修史さん

ガイドをした方から別れ際に、またお会いしたいと言われたら、本当にうれしい。また会えるかもしれない、そんな人と人のつながりを感じます。

言葉は 心からわき出た温泉です あったかいよ



松山城ロープウェイ



学生 井上雄太さん

まごころから出たことばは、お湯のようにあたたかいですよね。温泉とことばが住む人・来る人を包んでくれる松山をよく表わしていると思います。

住民の方や行き交う方を楽しんでもらいたいと、私の施設にこのように掲示しました。ことばは魔法。刃(やいば)にもなれば支えにもなります。「みんな誰かの宝物。」ということばはすべての人を癒やしてくれるでしょう。



福祉施設経営 今井典子さん

みんな誰かの宝物。

「どうぞ」と8歳 「ありがとう」と80歳



路面電車



会社員 平岡隆弘さん 麻早さん・蒼士郎くんファミリー

このことばを見ると、息子にも「どうぞ」と言えるような思いやりを持った人に育ってほしいと思います。

ちよっとやそっと 失敗したって 10年後には忘れとる!



会社員 重見夢子さん

10年後の自分が、不安を抱える今の自分にエールを送っている気がします。失敗を気にせずにチャレンジしていいんだよと、励まされているように感じます。



ロープウェイ街タペストリー



松山の商店街・大街道で行われた決勝トーナメントの様相



みずみずしい感性と 青春の輝きがまぶしい 「俳句甲子園」

「俳句甲子園」全国高等学校俳句選手権大会は、俳句の出来映えと、ディベートで鑑賞力を競う、ユニークな大会。たった9チームから始まった大会だが、16回目を迎える今年は、全国から84校125チームがエントリーした。このうち地方大会や投句審査によって選出された32校36チームが参加して、炎暑の中、全国大会が開催された。

第14回 最優秀句

「未来もう来ているのかも蝸牛」

菅千華子さん（厚木東高等学校・神奈川県）

第15回 最優秀句

「月眩しプールの底に触れてきて」

佐藤雄志さん（開成高等学校・東京都）



写真下は今年6月、羽田空港で行われた関東地区地方大会

毎年8月、松山市で暑いバトルが繰り広げられる。高校生たちが言葉の技を競う俳句甲子園全国大会だ。5人1組を1チームとし、2チームが赤白に分かれて一句一句対戦する。会場は市内中心部の商店街などで、俳句の創作力のみならず鑑賞力を競うのが特徴だ。

その魅力は何といっても高校生ならではの発想の飛躍と、感性のみずみずしさにある。「本気」の汗と涙がこぼる感動的だ。鑑賞力を競う質疑応答では、5人がそれぞれの持ち味を発揮して、審査員と観客をもうならせる白熱のディベートを繰り広げる。バトルといわれるゆえんであり、スポーツ感覚の楽しさもある。

この大会は、今や松山の夏の風物詩になっている。記憶に残る名勝負、名場面、名句も誕生した。俳句甲子園を題材とした映画「恋は五・七・五！」や漫画「ぼくらの17 ON!」（アキヤマ香作・佐藤文香協力）も登場し、言葉のキラメキを全国に発信し続けている。2010年、第五回日本イベント大賞において大賞を受賞。

共感の翼で全国に広がる 松山発祥の歌 「この街で」

全国各地で歌われている「この街で」は、実は松山が発祥の地である。大好きなふるさとで思い出を重ねる喜びを紡いだ歌詞、春風のような心地良いメロディー。幾人もの歌手がカバーし、結婚式の定番になりつつある美しい楽曲である。

この街で

作詞／新井満
作曲／新井満&三宮麻由子

この街で 生まれ この街で 育ち
この街で 出会いました あなたと この街で
この街で 恋し この街で 結ばれ
この街で お母さんに になりました この街で
あなたの すぐそばに いつも わたし
わたしの すぐそばに いつも あなた
この街で いつか おばあちゃんに なりたい
おじいちゃんに なったあなたと 歩いて ゆきたい
坂の上に 広がる 青い空
白い雲が ひとつ 浮かんでる
あの雲を 追いかけて 夢を 追いかけて
よろこびも かなしみも あなたと この街で
この街で いつか おばあちゃんに なりたい
おじいちゃんに なったあなたと 歩いて ゆきたい
この街で いつか おじいちゃんに なりたい
おばあちゃんに なったあなたと 歩いて ゆきたい
いつまでも 好きなあなたと
歩いて ゆきたい



「恋し、結婚し、母になつたこの街で、おばあちゃんになりたい！」

歌のモチーフとなったこのフレーズは、平成12年の「だから、ことば大募集！」で松山市長賞に選ばれた松山の主婦・桂綾子さんの作品だ。松山で開催された日本ペンクラブ「平和の日・松山の集い」の舞台で、このことばに感動したゲストの作家・新井満さんとエッセイスト・三宮麻由子さんが、即興的に作り、披露したというエピソードを持つ。

歌は共感を呼び、今や全国津々浦々で耳にするおなじみの曲となった。地名が入っていないため、どの街にも通用する普遍性を得たことが、多くの人々に愛されていった一因だろう。

松山市内では、道後の坊っちゃんカラクリ時計やJR松山駅、松山市駅のホームで、「この街で」のメロディーが流れている。

上／「この街で」が誕生して8年目を迎えた今年、モニュメントを舞台にして人前結婚式が行われた。主役は48組の応募の中から選ばれた5組のカップル

右上／生みの親である新井満さんの手書き原稿用紙を拡大して埋め込んだモニュメントが、松山市総合コミュニティセンターのロビーにある

ことばが光るおもてなし

旅先で、さりげなく書かれていることばに、ふと足を止めたり、心を奪われたりしたことはないだろうか。松山にはことばや文字を大切にしている、宿や味どころ、土産物がたくさんある。

歴史と文化の薫る宿



季節を愛でる俳句の宿

大和屋別荘

これが純和風旅館の粋というものだろうか？ 内玄関に入った瞬間に外の喧騒とは切り離され、まるで別の時間が流れているような感覚に包まれる。かすかに漂う香の匂いと研ぎ澄まされた調度の数々が、その手助けをし

てくれる。部屋に通された時、床の間にさりげなく高浜虚子や種田山頭火など松山にゆかりのある俳人をはじめ著名人の句の掛け軸がかけられているのも趣深い。昭和12年の開業以来、宿を訪れた文人墨客は主人の求めに応じて絵や書をしたためた。そんなこともあって所蔵する書画は350点を超え、美術館さながらだ。客室や廊下を飾る掛け軸は、季節や利用客のリクエストに応じて換えているという。障子の仕立てや部屋のしつらいは夏と冬で入れ替わる。数寄屋造りの旅館らしい天井や障子の棧の美しさ、ここそこに生けられた野の花、懸樋の水音が響く庭、美しい料理、静けさの中に身を委ねて過ごすひととき。ここにはそんな忘れかけた日本の宿の情緒がある。

女将の奥村さんが出迎えてくれる品格ある内玄関のたたずまい。気品ある調度品で構成された客室、風情たどる御影石の大浴場で旅の疲れをとるのもいい。上の写真、左の書は山頭火の句の掛け軸「ずんぶり湯の中の顔と顔笑ふ」

⑤松山市道後湯之町2-27
☎089-931-7771
⑥1泊2食付き2万9,025円～
※2名1室の1名あたりの料金です

あたたかい宿 谷屋

詩人・三代目魚武濱田成夫ゆかりの宿

詩だけでなく絵本や音楽などマルチに活動している三代目魚武濱田成夫氏が、かつて3カ月投宿して以来、今も関わりが深い宿。魅力は宿の名前にもある「あたたかい」おもてなし。部屋は7室と少なめで、それゆえ行き届いたサービスが自慢。古民家風建物や部屋ごとに異なる凝ったしつらいにもこだわりを感じる。



宿のおもてなしの心ともいえる女将の竹林さん。ロビーには濱田氏が寄贈したものをはじめ、多種多様なジャンルを描えたブックライブラリーがある。浴衣は濱田氏がデザインした3種類。「俺」の文字が並ぶ

⑤松山市道後湯之町2-4
☎089-921-8595
⑥1泊2食付き1万6,425円～
※2名1室の1名あたりの料金です



漱石も句に詠んだ道後が誇る老舗旅館

ふなや

江戸寛永年間に創業、漱石や子規をはじめ、多くの著名人・文化人に愛されてきた宿。新設されたスイートタイプの部屋「俳句ラウンジスイート」は、和と洋を融合した洗練されたデザインで、部屋の名前や室内に飾られた額は、子規の作品にちなんでいる。風雅な日本庭園は昔と変わらぬ趣を留める。

⑤松山市道後湯之町1-33
☎089-947-0278
⑥俳句ラウンジスイート
⑦1泊2食付き3万6,750円～
※2名1室の1名あたりの料金です



俳句ラウンジスイートは全部で4室。各部屋に子規の作品が飾られている。玄関先には夏目漱石が念願のふなやに泊まり詠んだ句碑「はじめてのふなや泊りをしぐれけし」がある。ロビーの展示室は、その昔昭和天皇が宿泊された洋館を移築したもの。ゆったりとしたサイズのツインベッドでよい夢を

うまいもん & すぐれもん

鯛メシ専門 鯛や

俳句熱の高い松山の往時の資料を展示

昭和4年建築、有形文化財指定の古民家・森家で味わう伊予名物の「鯛めし」が人気である。伊予灘で獲れた天然鯛のふっくらとした身のうま味が絶品。

もともとはよろず問屋で、室内には江戸から明治、大正、昭和と、時代をまたいで息づく品々がところ狭しと並んでいる。

2階は貴重な書類を展示した資料館(見学200円)になっていて、正岡子規をはじめとした俳句関連のものも豊富。それもそのはず、この森家の三代目である森連甫は子規が師と仰いだ俳人・大原其戒の一番弟子で、子規の兄弟子にあたる人物。当時の三津や松山の句会資料もあり、俳句のまち・松山らしい文化と歴史も知ることができる。



看板メニューの鯛メシは2,100円
①松山市三津1-3-21 ☎089-951-1061
②11時30分～15時 ③火・水曜(祝日の場合は営業、翌日休み)

書のペーパーウェイト

アーティストチックな書を銘木に刻みつけた逸品

三輪田米山は江戸時代の後期から明治まで活躍した伊予の神主で書家。爆発的なエネルギーに満ちた書は、地元松山だけでなく全国にもその名を轟かせる。米山の書を樹齢400年の県内木に刻み込んだペーパーウェイトは手のひら大のサイズ。一流の書と技が光る。文字は市内の神社の注連石に刻まれたもの。縁起がよいかも。



桜、紫檜などにダイナミックな書を刻み込んでいる。9種類、1セット2,100円(製造はうさぎ堂)



【販売】エヒメイズム ルブリュマツヤマ店
①松山市大街道3-2-45
☎089-993-7557
②9時～19時 ③無休

俳句の恋みくじ菓子

俳句恋みくじで恋占いしてみよう

恋愛の句をお菓子を食べてながら楽しめるのが、道後にある歩音の「俳句恋みくじ」。全60句、大吉から凶まで入っていて句の解説も付いている。クッキーと黒め塩飴があり、クッキーは割ると中から俳句恋みくじが出てくるというこだわりよう。ぜひ恋だめしをしてみようか？



俳句恋みくじフォーチュンクッキーは5個入り(袋) 525円、7個入り(缶) 750円。黒め塩飴は1袋150円、5袋入り 750円 [歩音(あるね)] ①松山市道後湯之町3-16 ☎089-993-8877 ②10時～19時(日・祝日9時～)
③水曜(祝日の場合は営業、翌日休み)



春夏秋冬の俳句スイーツが人気

俳句の季語にある果物や野菜を使った、しゃれたアイデアのスイーツを提供している。夏なら「みつまめ」「トマト」「ところてん」、秋は「くり」「きんかん」など。俳句解説の入ったしおり付き。スイーツを通して季節と俳句を楽しもう。

珈琲専科 珈壇

地元絵本作家の作品を多数展示・販売

珈壇では松山市在住の絵本作家で女性を中心に人気を集める秋田緑さんの作品を多く展示・販売。なかでも心に染み入る言葉とかわいらしい絵が描かれた「言葉の葉カード」(1枚150円)は人気のアイテム。メニューは珈壇オリジナルのじゃこカツを使った「じゃこカツパーガー」など豊富。

写真はじゃこカツパーガー 600円、ブレンドコーヒー 450円
①松山市一番町3-3-5 正和ビル1F ☎089-932-3624
②7時30分～21時(土・日・祝日は10時～18時) ③第2・4日曜(3連休以上の場合は最終日が休み)

日本酒のオリジナルラベル

好きな言葉を書いて旅の思い出に!

創業明治28年の老舗蔵元「水口酒造」のショップ「きたつ蔵部」では、人気の純米吟醸酒のボトルに好きな言葉を書いてオリジナルラベル作りを体験できる。旅の思い出に、特別なあの人に、あなただけの記念の一本をここで買って贈ってみてはいかが？

【きたつ蔵部】
①松山市道後喜多町3-23 ☎089-924-6616(水口酒造)
※日曜の問い合わせは☎089-924-6617(きたつ蔵部)まで
②11時～18時 ③月曜(祝日の場合は営業、翌日休み)

文人ゆかりの食べ物

漱石が食べた つばや菓子舗の坊っちゃん団子

小説『坊っちゃん』に登場し、夏目漱石が食べたのは、この店の湯ざらし団子だった。進化して3色の現在の形になる。2本入り210円、5本入り525円。店内でも食べられる。

①松山市道後湯之町14-23
☎089-921-2227 ②9時30分～22時
③火曜(祝日の場合は営業、翌日休み)



近松門左衛門がほめた五色そうめん

江戸時代の劇作家・近松門左衛門は「味はいうまでもなく、目にも美しい」と絶賛の礼状を送ったとされる。上品な味わいは今も全国にファンを持つ。手延五色そうめん 5色の束入り 1箱483円。

土産物店、空港、港などで販売。
【五色そうめん 森川】 ☎089-966-5511



子規が愛した玉泉堂本舗の煎餅

明治15年の創業以来、愛わらぬ味の煎餅。子規の『仰臥漫録』にも登場する湯玉の形の温泉煎餅(2,100円)は予約制。長方形の玉泉堂煎餅(缶入り2,100円)は数量限定発売。

①松山市道後湯之町12-31
☎089-921-2528 ②10時～18時
③日曜、祝日

会いたい松山 今行く松山

秋の祭り・イベント情報

秋祭りや薪能などの恒例行事はもちろん、今年から道後では現代アートの祭典もはじまって松山は賑やかな秋を迎える。松山っ子の輪に入って一緒に楽しんでみよう。

10月5日(土)～7日(月)

穏やかな松山人が豹変！
松山が熱くなる3日間

松山秋祭り

松山人は温厚なイメージだが、その印象をいい意味で裏切り、熱く勇猛果敢になるのが「松山秋祭り」だ。

秋祭りが開催される10月5日～7日の3日間、市内はまさに祭り一色！7日にはいよいよ本番を迎え、興奮は最高潮に達する。なかでもひととき盛り上がるのが、早朝に道後温泉駅前で行われる鉢合わせ。

鉢合わせとは神輿をぶつけ合うこと。神輿は揺さぶれば揺さぶるほど、中に収められた御霊のパワーが増幅され、利益が増すと昔から考えられてきた。それがこの鉢合わせとなり、松山で独特の神輿文化を作り上げている。伊佐爾波神社と湯神社から出てきた8つの神輿がそれぞれ2地区の神輿と対戦し、計8回の鉢合わせが行われる。駅前には早いうちから人の熱気であふれ、「モチコイ！モチコイ！」のかけ声とともに、かき夫(神輿を担ぐ人)たちはもちろん、見物客も興奮の渦に巻き込む。迫力満点の光景を見ようと、全国から人が集まる。

秋・冬

最古にして、最先端。
温泉アートエンタテイメント。

「道後オンセナート2014」

道後温泉では、平成26年に迎える本館改築120周年を記念して、大遷暦プロジェクト国際芸術祭「道後オンセナート2014」を開催する。これは、国内外の現代アートの作家たちが本館とその周辺を使って独自の作品化を試みるイベントで、本館の外観に映像や照明を演出したり、大型の「霧の彫刻」といわれる芸術表現も行われる。また影絵をモチーフにした映像作品を展示する「大影絵」などが予定されている。このほか、道後商店街と周辺路地に作品を置いたり、参加型のイベントも用意。本館と周囲のパブリックスペースが、驚くべき非日常の空間に変身する。今年は秋にプレイベントを実施、年末からプレオープンとなる。



問い合わせ:道後温泉事務所 ☎089-921-6464

11月11日(月)

天守を仰ぎながら
幽玄の世界を堪能

第12回松山城新能

松山は能楽の盛んな土地柄で、藩政時代は、石高に似合わない豪華な能装束を抱えていたことから「松山藩に過ぎたるもの」といわれたほど。

松山城新能は松山城の天守や二之丸の石垣を仰ぎながら、暮れなずむ空の下、篝火に照らされた特設舞台上で繰り広げられる厳かな世界が鑑賞できる。



日時:11月11日(月)17時45分～
城山公園(堀之内地区)
観覧券:有料(席種によって異なる)
☎089-948-6555(松山市観光・国際交流課)

定番スポットから隠れた名店・穴場まで

ガイドさんとまち歩き「松山はいく」

専属ガイドが案内する松山のまち歩き。個人旅行から団体旅行まで多彩なコースがある。「俳句」と、歩く「ハイク」をかけてネーミングされているが、俳句にちなんだコースばかりではない。美味しい和菓子の店を案内してくれる「松山スイーツ」コースや、道後温泉の「分湯めぐり」といったマニアックなコースもある。料金や所要時間、集合場所、コースの詳細はホームページを。



[松山はいく事務局]
☎089-945-6445
http://matsuyamahaiku.jp/

東京でも味わえる愛媛・松山の味

～地元の食材を積極的に使っている飲食店～



- 鯛めし 京風おでん 折おり 港区赤坂2-14-5 赤坂ビジネスプレイス 1F ☎03-6459-1888
- 一心丸 中央区京橋1-6-12 イーサスピル B1 ☎03-3563-8622
- 四季茶寮 えど 中央区日本橋室町1-4-1 日本橋三越本店 本館4F ☎03-3242-9550
- がいや 杉並区阿佐ヶ谷南3-37-5 エレガント阿佐ヶ谷1F ☎03-6383-5255
- 根魚 静(ねぎかな しずか) 足立区梅島1-14-1 ☎03-3849-0361
- 瀬戸内水軍 港区芝5-24-3 日置ビル1F ☎03-3451-3977
- 二代目魚屋町 港区芝5-24-12 ☎03-6435-0477
- 四国味遍路はちはちや六本木店 港区六本木7丁目4-5 ☎03-3479-5788
- 四国味遍路はちはちや丸の内店 千代田区丸の内1丁目4-1 丸の内永楽ビルディング B1F ☎03-6273-4560



鉢合わせの瞬間。大きな音とともに神輿が激しくぶつかり合う



道後温泉駅前で行う鉢合わせ前の緊張の瞬間

日時:10月5日(土)～7日(月)
場所:鉢合わせは道後温泉駅前をはじめ市内数ヶ所
※道後の鉢合わせに関する問い合わせ
伊佐爾波神社 ☎089-947-7447
湯神社 ☎089-921-0480

写真提供/伊佐爾波・湯神社八可会



松山市伊台でライムを栽培している片山和雄さん。寒さに弱いだけに、その管理には細心の注意を払っている。品質の良い松山産ライムに期待がかかる



目指せ生産量日本一！
みずみずしい香りが
持ち味です

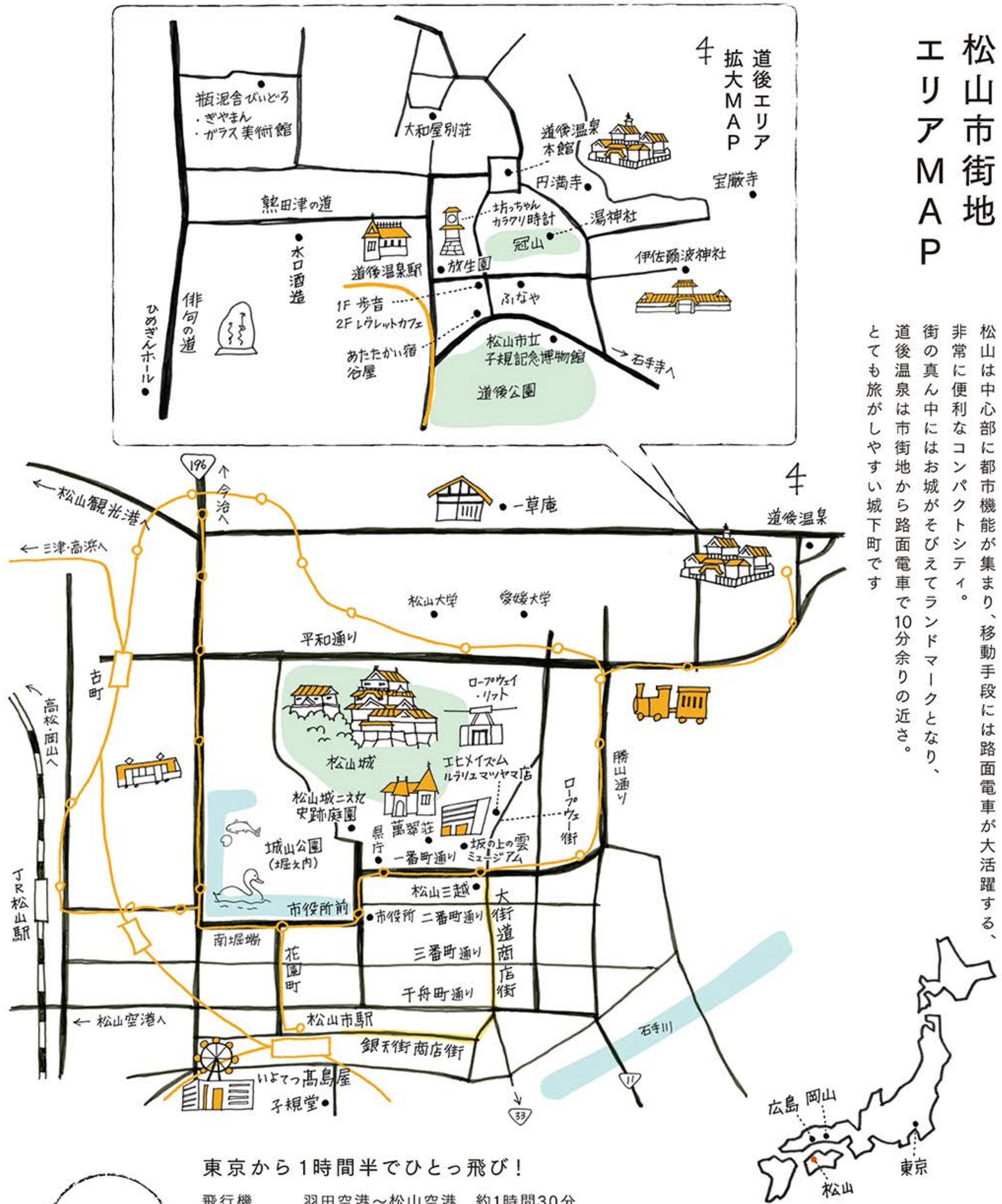
松山産ライム

みかんが有名な愛媛県だが、ここ3年ほどで注目を集めているのが、松山産のライムだ。実は日本で流通しているライムはそのほとんどが輸入物。しかし瀬戸内の温暖な気候が栽培に適していたことから、松山市の島しょ部、北条地区の海岸部、内陸の伊台地区などで栽培がはじまり、現在、全国でトップレベルの生産量を誇っている。

松山産ライムの特徴は、搾ると部屋中に飛び散るほどの香りの高さ。また、小ぶりながらも重みがあり、果汁がぎゅっしりつまっていること。秋口の10月頃が出荷のピークになる。お酒に入れたり、料理の香り付けに使ったり、お宅の食卓でも試してみてください。

松山市街地
エリアMAP

松山は中心部に都市機能が集まり、移動手段には路面電車が活躍する、非常に便利なコンパクトシティ。街の真ん中にお城がそびえてランドマークとなり、道後温泉は市街地から路面電車で10分余りの近さ。とても旅がしやすい城下町です



東京から1時間半でひとっ飛び！

- 飛行機 羽田空港～松山空港 約1時間30分
成田空港～松山空港 約1時間40分
(松山空港から市内中心部まではリムジンバスでたった20分)
- JR 東京駅～(新幹線 約3時間30分)～岡山駅～(予讃線 約3時間)～松山駅
- JR+船 東京駅～(新幹線 約4時間)～広島駅～広島港～(高速船 約70分)～松山観光港
- 長距離バス 東京駅～松山駅 約12時間20分

アクセス

「企業研修」「職場旅行」は松山で！

松山市では、小説『坂の上の雲』を活かしたまちづくりの一環として独自の研修プログラムを開発し、地域が一体となって企業の人材育成支援を行っています。旅に付加価値を演出する充実のおすすめプログラムを紹介しましょう。

- 『坂の上の雲』のまち松山 - 明治の松山・人びとの人生に学ぶ-
- 本家「野球拳」で社内を活性化
- 伊予の和太鼓を打って社内を活性化
- 道後温泉「いやしとこころざし」巡り
- 正岡子規を知り「やりがい」をさがす

詳しくはWEBで [松山 企業研修](#) 検索

モデルコースなどのご提案もいたします。詳しくは下記までお問い合わせください。
[松山市観光・国際交流課] ☎089-948-6555

10月 公開決定!

松山発 オリジナルアニメ 感動の冒険活劇!

詳しくは松山市ホームページへ ▶ <http://www.city.matsuyama.ehime.jp/>



ペア
1組2名様

① 松山・道後温泉の旅にご招待

羽田～松山往復航空券+大和屋別荘1泊2食付宿泊券

道後温泉にある数寄屋造りの純和風旅館「大和屋別荘」は品格ある高級旅館として知られています。羽田～松山往復航空券をセットにした宿泊券をプレゼント。とっておきの宿に泊まって松山道後の旅をお楽しみください。

協賛元：(宿泊)大和屋別荘。宿泊は平日限定。
<http://www.yamatoyabesso.com/>



松山への旅や特産品など
素敵なプレゼントが
当たります

「暖暖松山」4号はいかがでしたか。
お読みいただいた方の中から、
抽選で松山の素敵なプレゼントが
当たります。
WEBかハガキで、
アンケートに答えてご応募ください。
当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。
応募締切/2013年10月18日(金)。ハガキの場合は、当日消印有効

5名様



② まつやま農林水産物ブランド認定 「紅まどんな 3kg 程度」

愛媛のオリジナルみかん。果肉がゼリーのように甘くてジューシーな上、種がなく食べやすいのでとても人気。皮が薄いのでカットフルーツで召し上がってください。
※発送時期は12月頃になります。

協賛元：まつやま農林水産物ブランド化推進協議会
<http://www.matsuyama-brand.com/>

10名様



③ 五色そうめん森川の 「坂の上の雲[®] 五色の糸そうめん」

こだわりの小麦を使ったもちもちの食感と、天然のくちなしの実を使った色彩が楽しめる手延べそうめんです。200g×4箱入り。

協賛元：五色そうめん森川
<http://www.goshiki-soumen.co.jp/>



5名様



④ 玉泉堂本舗の 「玉泉堂潮」

甘さの中にほんのり塩味がいい塩梅の「玉泉堂潮(通称 しおせんべい)」は、パリッとした感触。次々と食べたくなる逸品です。缶入り52枚入り。

協賛元：玉泉堂本舗

10名様



⑤ 母恵夢のブランデーチョコケーキ 「夜明けのブルース」

シンガーソングライター・レーモンド松屋さんが松山市二番町を舞台に書き下ろしたヒット曲「夜明けのブルース」をモチーフにしたケーキ。刻んだマロンやベルギー産カレボーチョコを使用。2箱セットで提供。

協賛元：母恵夢
<http://www.poeme.co.jp/>



ハガキでご応募

ハガキに次の①～⑦を明記して、下記までお送りください。

①ご希望のプレゼント番号(ひとつ)②本誌を読んだ感想③〒住所④お名前⑤年齢⑥性別⑦電話番号

〒102-8515 (住所不要)サンケイリビング新聞社 企画開発部
「暖暖松山」プレゼント事務局

- ◎受付業務は、サンケイリビング新聞社が代行します。個人情報を申込者の許諾なく第三者に提供することはありません(法令等により開示を求められた場合を除く)。
- ◎個人情報は、プレゼント賞品の発送、及びアンケート集計のみに利用し、厳重に管理いたします。
- ◎プレゼント賞品に関するお問い合わせは、えひめリビング新聞社までご連絡ください(TEL089-931-5800)。
- ◎松山市の個人情報保護制度については、松山市のホームページをご覧ください。<http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/keikaku/johokokai/kojinjouhouhogoseido.html>
- ◎当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。応募締切/2013年10月18日(金)。ハガキの場合は、当日消印有効

WEBでご応募

<http://www.dandanmatsuyama.com>



暖暖松山プレゼント

検索

パソコン・スマートフォンでご覧になれます

2013年8月発行/企画・発行:松山市産業経済部都市ブランド戦略課 TEL089-948-6707
〒790-8571 愛媛県松山市二番町四丁目7番地2 松山市ホームページ <http://www.city.matsuyama.ehime.jp/>
暖暖松山編集部:サンケイリビング新聞社・えひめリビング新聞社内 撮影:大本幸和 アートディレクション・デザイン:相澤事務所 タイトルデザイン:漆原悠一(tento)
印刷・製本:NTTクオリス 配布:サンケイリビング新聞社

この冊子は、森の循環に貢献している認証紙とベジタブルインキを使用しています

※掲載データにつきましては、2013年7月現在のものです。情報の内容は変更される場合がございますのでご了承ください。本誌記事、写真等の無断複製、及び転載を禁じます

